いわよう　第2号
学校だより

令和4年 10 月
県立岩戸養護学校
横須賀市岩戸 5-6-5
☎:046-839-4500
FAX:046-849-3200

■学校長あいさつ

早いもので４月から始まった令和４年度も半分が過ぎました。岩戸養護学校においてもまだまだ新型コロナウイルスによる様々な制約を受けながらの教育活動を展開しているところですが、とにかく「今できることをできる範囲内で、そしてできる形で…」を合言葉に、以前のように「何ができないか」、「どうしてできないのか」ではなく、「これから何ができるのか」、「どうしたらできるのか」という視点を持ちながら生徒・教職員ともに前向きに学校生活を送っています。

おかげさまで、9 月 17 日㈯には 3 年ぶりに保護者の方々と一部の地域の方々をお招きし、岩桜祭（文化祭）を開催することができました。振り返れば、一昨年は中止、昨年度は生徒と教職員だけの文化祭を実施しましたが、やはり保護者の方々をはじめ校外の方々に生徒たちの練習や準備も含めた日ごろの学習の成果を見ていただけたことは何よりのことだと思っています。

文化祭当日のいきいきとした目を輝かせがんばっていた生徒たちの様子からも、自分たちの努力やがんばりを「誰かに見てもらう」ことがいかに大切か、そしてそれが充実感や自己達成感、自己肯定感にもつながっていくものなのだとあらためて教えられました。来年度以降の文化祭には今年度より少しでも多くの方々に来校いただき、まずは岩戸養護学校を知っていただき、生徒たちとの直接のふれあいをしていただけるものと信じています。引き続き岩戸養護学校の教育活動へのご理解・ご協力どうぞよろしくお願いいたします。　（学校長・安藤　徹）

■夏季公開講座について

７月２７日㈬に令和４年度夏季公開講座を開催しました。
伊藤大郎氏（本校学校運営協議会会長・元鎌倉女子大学教育学部教育学科准教授）、小澤長幸氏（日本水産観光株式会社取締役社長）を講師にお招きし、シンポジウム形式で行いました。
①本校の進路の取り組みと課題について説明、②小澤社長より雇用の実態についてのお話、③伊藤先生からのまとめのお話をしていただきました。

＜参加いただいた皆様の声＞
・就労に向けて、具体的な事例を交えた話が聞けてよかった。
・小澤社長の“何が一番その子にとって幸せなのか”という言葉にハッとさせられた。
・伊藤先生からの頼れる“場所”と“人”を増やすことが大切だとの言葉が印象に残った。
（アンケートより一部を抜粋させていただきました。）

＊地域の皆様にもたくさんご参加いただき、また多くのご感想もいただきました。今後もより充実した内容の公開講座を企画していきたいと思います。暑い中、本当にありがとうございました。

■岩桜祭（文化祭）について

「心を一つにみんなで協力して絆を深めよう」をスローガンに、9月17日㈯岩桜祭を行いました。
“生徒企画”では、防災や環境問題をテーマとして学習の成果を発表したり、様々なゲーム的要素を取り入れて、お客様に楽しんでもらおうとしたりするなど、工夫を凝らした企画を行うことができました。

今年度は、地域の皆様をお招きして開催することができました。地域の皆様には、「（接客）対応が上手だね」、「きれいな作品ですね」など、生徒たちの充実感や今後の意欲につながるような、たくさんのお声をかけていただきましたこと、本当にありがたく感じております。

スローガンの垂れ幕

生徒企画・森林の宝たち

生徒企画・スクールダンスフェスティバル

生徒企画・太鼓の達人

■地域活動について

例年、生徒の地域活動の一環として学外の清掃等を行っています。9 月は、環境整備班（職業）が、学校前の歩道清掃を行いました。また、事務班（職業）では受注作業として、大矢部町内の歴史集づくりを行いました。

学校前の歩道

大矢部町歴史集